

政策	施策	主な実績
1 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成	(1)子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力の向上 (全国学力・学習状況調査結果:小学校 40→24位、中学校 40→36位(H21とH25の比較)) ・小・中学校における体力向上対策の推進 (全国体力・運動能力等調査結果:小5男子 27→12位、小5女子 37→23位、中2男子 38→21位、中2女子46→41位(H21とH25の比較)) ・全国体力・運動能力等調査結果の伸び率全国上位 (小5男子2位、女子3位、中2男子1位、中2女子2位(H21とH25の比較)) ・新規高卒者の国公立大学現役合格率の向上 (H21:19.6% → H25:20.2%) ・新規高卒者の就職内定率の向上 (H17:97.3% → H25:99.0%) ・特別支援学校における知的障がいのある生徒の一般就労率の向上 (H18:14% → H25:27%) ・高校改革推進計画の推進(H17) ・大分県公立学校教職員の人材育成方針策定(H23) ・「目標達成に向けて組織的に取り組む『芯の通った学校組織』」推進プランの策定(H24～)
	(2)いじめ・不登校対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間いじめ相談ダイヤルの開設(H25) ・大分県いじめ防止対策連絡協議会の設置(H25) ・大分県いじめ解決支援チームの設置(H25) ・教員指導資料「いじめ対応マニュアル」の策定(H25) ・「大分県いじめ防止基本方針」の策定(H26)
	(3)県民総ぐるみによる教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校数に対する放課後子ども教室の設置推進 (H25:大分県69.0%、全国49.1%)。 ・津波浸水想定区域内の学校における津波を想定した避難訓練の実施率100%達成(H25) ・「防災教育実践事例集」の策定(H25) ・「大分県教育情報化推進戦略」の策定(H25～) ・県立学校の耐震化率100%達成(H23) ・私立学校施設の耐震化率:小中学校100%、高等学校83%
	(4)地域に根ざした大学等高等教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化短期大学の学科の再編・充実(H25～) ・看護科学大に大学院修士課程NPコースを開設(H20～) ・次世代電磁力応用機器開発プロジェクトの実施(H19～) ・東九州地域医療産業拠点構想の推進(H22～)
	(5)生涯学習社会の形成と社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館の図書個人貸出冊数全国3位(H24) ・生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」のリニューアル(H23～)
	(6)青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分県青少年の健全な育成に関する条例」施行(H17) ・大分県少年の船の運航 ・第3次大分県子ども読書活動推進計画の策定(H25) ・家庭教育支援チームの設置(H25～)

2 芸術・文化の興隆とスポーツの振興	(1) 県民文化の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館建設着工(H25～) ・別府アルゲリッチ音楽祭(H10～)や国東半島芸術祭(H24～)など優れた芸術文化に触れる機会の提供
	(2) 文化財・伝統文化の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の修復現場公開の実施(H22～)
	(3) 県民スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・県内4つのプロスポーツを活用した地域交流事業(H23～) ・別大マラソンのエントリー制限時間の緩和による市民ランナーの参加促進(H23～) ・「チャレンジ！おおいた国体」(H20)、「北部九州インターハイ」(H25)での本県選手の活躍 ・総合型地域スポーツクラブの市町村育成率100%を全国3番目に達成(H21) ・大分県競技力向上対策総合計画改定(H21～)
3 多様な県民活動の推進	(1) NPO(NPO法人・ボランティア団体・市民活動団体等)の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「めじろん共創応援基金」の創設(H24) ・認証NPO法人数:499団体(6月末時点)
	(2) 「新しい形の公共」を担う多様な主体との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分県協働推進会議」の設置(H17) ・「大分県におけるNPOとの協働指針」の策定(H16)→見直し(H23) ・提案公募型事業の推進(H16:5件→H25:74件) ・NPO法人へ港湾管理等業務を委託(大分港西大分地区港湾環境施設管理:H18～、大分港港湾監視:H24～)
4 交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	(1) 広域交通網の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー利用を促進するインセンティブ制度創設(H23～) ・国内航空路線の増便及び新規路線就航(H25～) ・東九州自動車道(H20.6津久見～佐伯、H25.2蒲江～北浦)の供用開始 ・中津日田道路(中津港線、中津道路、本耶馬溪耶馬溪道路)の供用開始 ・中九州横断道路(H19.3犬飼～千歳 H20.3千歳～大野)の供用開始 ・高速道路ICに概ね60分で到達できる地域(H16:58%→H25:78%) ・佐伯港国際物流ターミナル整備(H25:-14m岸壁等供用開始)
	(2) 地域生活交通システムの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象路線運行実態調査を実施(H23～H24) ・コミュニティバス利用拡大に向けた補助メニュー新設(H25～) ・大分空港道路、米良有料道路、大野川大橋有料道路の無料化(H23) ・救急救命センターに概ね60分で到達できる地域(H16:64%→H25:77%)
5 情報通信基盤の整備とIT化の推進	(1) 情報通信基盤の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ世帯普及率(H16…45.5% → H25…65.1%(九州1位)) ・ブロードバンドサービスの普及促進(H16…29.3% → H25…87.8%(九州3位))
	(2) 県民生活の情報化推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県への電子申請届出件数の割合(H16…0.4% → H25…39.2%) ・河川水位情報メールの配信(H22) ・河川監視カメラ映像の配信(H22～H25)
6 分権時代への対応	(1) 分権確立に向けた行政体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県事務の市町村への移譲を推進(261事務を移譲) ・未利用県有財産の売却等(H25累計/93.5億円) ・財政調整用基金の確保(H25末残高/443億円) ・(公財)大分県自治人材育成センターの設立 ・九州地方知事会において、各県共通の広域的課題に取り組む「政策連合」を展開(H15～43項目)